

クローズアップ

華やかな七夕飾りを楽しむ

7月8日から11日まで、中心市街地などで前橋七夕まつりを開催。各通りは華やかに飾り付けられ、多くの家族連れや友人同士でにぎわいました。また、10日には社会を明るくする運動のパレードが実施され、犯罪のない明るい社会づくりを呼び掛けました。



赤城山の自然と遊ぶ

7月18日、粕川町中之沢のおおさる山乃家で自然体験イベント「ゆこうよ森へ」を実施。バーベキューや川遊びなどを親子で協力しながら楽しみました。家や学校では経験できない自然との触れ合いに子どもたちは大はしゃぎ。赤城山の雄大な自然を体験した1日となりました。

いきいき まえばし人



山崎宇宙飛行士の俳句募集で最高賞

萩原 美智子さん・48歳
下増田町

子どもとの触れ合いがアイデアの源

ことし4月に宇宙航空研究開発機構（JAXA）が主催し、宇宙飛行士・山崎直子さんが宇宙から募集した俳句コンテストで、最高賞のきぼう特別賞に輝いた。受賞作品は「宇宙からの願いは地球も夢（ゆめ）に満ちる」

「きぼう特別賞と聞いて、最初は信じられませんでした。とてもうれしかったです。同じ母親として山崎さんの心の琴線に触れるものがあったのかもしれないね」

普段は2人の子どもの母親であり、家族との触れ合いを大事にしている。陶芸など手先を使った物作りが趣味で、俳句の経験は特になかった。しかし、子どもたちの通う小学校で俳句の取り組みが盛んなため、その取り組みを通じて、俳句を真剣に考えるようになった。

「子どもたちと謎かけの言葉遊びをしているうちに、自然と言葉の引き出しが増えたと思います」

応募のきっかけは、小学校からのコンテスト参加の呼び掛け。子どもたちにもっと俳句に親しんでもらいたいと思い、一緒に応募したという。

「地球は宇宙から見ればきれいな星。しかし、戦争や貧困など多くの問題があります。そのような問題がなくなり、夢と緑あふれる良い社会がつくられることを願って詠みました」と俳句を作ったときの心境を振り返る。

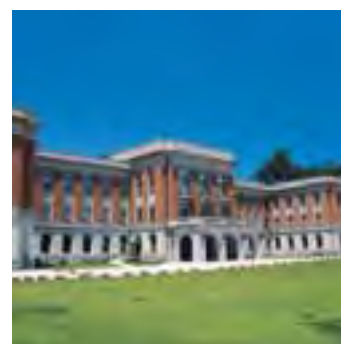
好きな言葉は「想像と創造」。今後は俳句や陶芸など形の有無にかかわらず、様々な物作りに携わり、素晴らしい感性で表現を続けてほしい。

いにしえ 万華鏡 その十七

問い合わせは 文化財保護課 ☎231-9531

昭和の歴史を刻んだ風格漂う

国登録有形文化財 群馬県庁本庁舎



現在の昭和庁舎

昭和3年に建設された群馬県庁本庁舎。昭和庁舎とも呼ばれ、現在の新庁舎が完成した平成11年の夏まで、長年、本庁舎として親しまれてきました。平成8年には、昭和初期の貴重な典型的洋風建造物であるとして、国の登録有形文化財に登録されています。現在はパスポートセンターや喫茶店があるほか、NPOや文化団体の活動の場として利用されています。

この庁舎は、国指定重要文化財である早稲田大・大隅講堂と同じ佐藤功一の設計により、昭和3年に落成しました。地上3階、地下1階の鉄筋コンクリート造りで、

建築面積は2,019平方メートル。昭和初期の典型的な洋風建造物といわれ、1階は石張り、2・3階はスクラッチタイル張りの外壁になっています。玄関正面には上品な半円アーチの車寄せが設けられています。当時、関東近県において最も先進的な建築技術を駆使した県庁として注目されました。

佐藤功一は、早稲田大に建築科を創設したことで知られる建築家です。作品としては関東大震災以降の物が多く、早稲田大・大隅講堂のほかにも日比谷公会堂などを残しています。県庁舎も多く手掛けていて、本県を皮切りに栃木県、滋賀県、宮城県と、似たデザインの本県が次々と造られました。現在はほとんど残っていません。なお、県庁に向かい合っている群馬会館も彼による設計です。

昭和庁舎の歴史が醸し出す風格と、どこかレトロな雰囲気を感じながら、夏のひとときを過ごしてみませんか。